

ちぐら ちぐら

作詞 日本古謡

さくら さくら 野^の山^{やま}も、里^{さと}も、

見^みわたす かぎり 霞^{かすみ}が、雲^{くも}が、

朝^{あさ}日^ひに 匂^{にお}う。

さくら さくら 花^{はな}ざかり。

さくら さくら 弥^や生^{よい}の 空^{そら}は。

見^みわたす かぎり。 霞^{かすみ}が 雲^{くも}が。

匂^{にお}いぞ いずる。

いざや いざや 見^みにゆかん。

参考情報：

1 番：文部省著『うたのほん 下』大日本図書、1941（昭和16年）年3月

2 番：文部省音楽取調掛撰『箏曲集』文部省編輯局、1888年（明治21年）10月